

2026 奈良県障害者スポーツ大会開催要綱

目 的

この大会は、障害者スポーツを広く振興するとともに、県民の障害者スポーツに対する理解を深め、障害者の社会参加の促進と、障害者福祉の増進に寄与することを目的とする。

基本方針

- (1) 各競技会の競技運営は、奈良県スポーツ協会加盟等のそれぞれの競技団体に主管を依頼する。
- (2) 大会出場者の中からその成績等を参考にして、青の煌めきあおもり障スポ 2026 第 25 回全国障害者スポーツ大会《令和 8 年 10 月 23 日(金)～26 日(月)青森県開催》への出場選手を選考する。ただし、団体競技については、県大会で優勝したチームが近畿ブロック予選会に出場する。

1. 名 称：2026 奈良県障害者スポーツ大会

2. 主 催：奈良県・奈良県障害者スポーツ協会

3. 審判協力：(一財)奈良陸上競技協会・(一社)奈良県水泳連盟・奈良県卓球協会・田原本町卓球連盟・奈良県ソフトボール協会・(一社)奈良県バスケットボール協会・奈良県障害者フライングディスク協会・奈良県障害者スポーツ指導者協議会

4. 後 援：(一社)奈良県身体障がい者団体連合会・(一社)奈良県視覚障害者福祉協会
(一社)奈良県聴覚障害者協会・(一社)奈良県手をつなぐ育成会
(社福)奈良県社会福祉協議会・奈良県ボランティア連絡協議会・奈良県知的障害者施設協会・(公財)奈良県スポーツ協会・奈良県市長会・奈良県町村会・奈良県特別支援教育研究会・奈良県障害者スポーツ指導者協議会

5. 開催競技期日及び会場

令和 8 年 4 月 5 日(日)	サッカー	県立高等養護学校グラウンド《雨天決行》
令和 8 年 4 月 12 日(日)	バスケットボール フットソフトボール	奈良県心身障害者福祉センター体育館 県立高等養護学校グラウンド《少雨実施》
令和 8 年 4 月 19 日(日)	卓球 ソフトボール	奈良県心身障害者福祉センター体育館 県立高等養護学校グラウンド《少雨実施》
令和 8 年 5 月 9 日(土)	バレーボール	奈良県心身障害者福祉センター体育館
令和 8 年 5 月 10 日(日)	フライングディスク	県立高等養護学校グラウンド《少雨実施》
令和 8 年 5 月 17 日(日)	水泳	まほろば健康パーク スイムピア奈良
令和 8 年 5 月 24 日(日)	陸上	鞆工房山本アスレチックフィールド橿原 (県立橿原公苑上競技場)《雨天決行》

6. 競技規則：適用する競技規則は、2026 年度日本パラスポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

7. 競技方法

- (1)原則として、予選競技は行わずすべて決勝競技として行う。ただし、卓球競技については、エントリー数に応じてトーナメント形式またはリーグ戦形式で行うものとする。
- (2)出場者が少ない障害区分については、類似した障害条件の者と一緒に競技を行うことがある(表彰は障害区分別に行う)
- (3)その他、各競技実施要項及び主管競技団体の指示に従うこと。

8. 出場資格：出場者は、次の各号に該当するものとする。

(1) 満年齢13歳以上の者。（令和8年4月1日を基準とする）

＊ また、各個人競技者は、次の年齢により区分されるものとする。

身体の一部：1部（39才以下）・2部（40才以上）

知的の一部：少年（19才以下）・青年（20才～35才）・壮年（36才以上）

精神の一部：年齢区分無し、性別のみ（卓球）

(2) 身体障害者については、身体障害者手帳の交付を受けた者。

(3) 知的障害者については、療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。

(4) 精神障害者については、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。個人種目卓球、団体種目バレーボール競技のみ出場可とする。

(5) 奈良県内に居住する者。（施設入所、学校通学者は県内に住居があれば住民票が県外でも可である。）

9. 出場制限：個人競技は、県大会に限り下記の出場制限を設ける。

(1) 陸上競技の出場種目は、1人2種目までとする。

【身体部門】：競走競技、跳躍競技、投てき競技の中から1種目（合計2種目）を選択するか、競争競技だけは2種目出場を認める。（1種目のみの出場可）

ただし、50mと100mと1,500mの組合せおよび、跳躍競技や投てき競技ばかりの2種目の出場は出来ない。

障害区分番号8及び20の人のみ、投てき2種目の出場を認める。ただし、区分番号20は、砲丸投げとほか1種目とする。

障害区分番号24の人は、競技エリアでは、光の通らないアイマスクを装着しなければならない。障害区分番号24の人で（50m音源走）以外の競走競技に出場する人は、伴走者を認める。ただし伴走者は出場者が探してくるものとする。

★内部障害（原則、膀胱又は直腸機能障害）については、以下の種目に限り出場できる。

（走：50m、1,500m）・（跳：立幅跳、走幅跳）・（投：ソフトボール投、ジャベリックスロー）の6種の中から、上記の【身体部門】の出場制限に準じて出場できる。

【知的部門】：競走競技、跳躍競技、投てき競技の中から1種目（合計2種目）を選択するか、競争競技だけは2種目出場を認める。（1種目のみの出場可）

※4×100mリレーは男女別に申し込むこと。1チーム4名以上6名以内★申込順がリレーの走者順ではない。

【※同じ所属で2チーム以上の出場する場合は、チーム名の後にA・B・・・を付ける】

(2) 水泳競技は、1人2種目まで出場できる。午前中に実施する。

（※リレーは当日申込）

出場者の障害区分別種目表は《別表2》とする。障害区分番号23の人は、競技中、光の通らないゴーグルを装着しなければならない。

(3) 卓球競技はシングルスのみで、障害区分番号15該当者のみ、STTに申し込む。障害区分15の人はアイマスクを装着しなければならない。

《別表3》卓球用ゼッケン[上部:氏名・下部:所属名]は、競技服装の背部に付けること。（ゼッケンは各自で準備する。縦20cm・横25cm程度）

(4) フライングディスクのアキュラシーについては5mか7mを選択、ディスタンスについては座位か立位を選択する。（どちらか一方だけでも可）《別表3の4》

10. 参加申込み方法

(1)参加申し込みは、県・市及び十津川村の福祉事務所(在宅者)、学校、入所施設を単位として行う。

注) 通所施設への通所者は、①在宅者と同じ要領で、居住地の福祉事務所へ申し込む。

(2)各競技会の出場希望者は、参加申込書に必要事項を記入のうえ《※別添参加申込み記入例及び記入要領を参考に》、以下の手続きにより申し込む。

- ① 在宅者（作業所等施設へ通所の方も在宅者扱いとする）は、2月25日(水)までに、その居住地を所管する福祉事務所へ提出するものとする。
- ② 各福祉事務所は提出された申込書を確認し総括表にまとめて、3月11日(水)【必着】までに身障部門・知的部門・精神部門に分けて、奈良県障害者スポーツ協会事務局あてに送付するものとする。
- ③ 学校に在学中又は、施設に入所中の方については、所属長の承認を経て3月11日(水)【必着】までに事務局あてに送付するものとする。ただし、学校に在学中であるが居住地から在宅者として参加する場合は、（注：①在宅者の要領で申込む）

注) 学校の担当者は、分かる範囲でスポーツ協会事務局まで連絡をお願いする。また、学校・入所施設の新入生で《個人競技：卓球・フライングディスク・水泳・陸上の出場希望者》については4月10日(金)【必着】までに、申し込むこととする。

＜※団体競技の申込みは、原則3月25日(水)【必着】までに申込用紙を提出すること＞

- ④ 申込後、各競技会前日までに欠席者が出た場合は、必ず下記まで棄権届をFAXしていただくと共に、念のため発信の電話を行う。また、陸上競技会当日に欠席者が出た場合は、棄権届に欠席者全員分を記入し、受付時に《受付場所》へ必ず提出する。
- ⑤ 陸上競技以外の当日欠席者は、受付時に棄権届を提出するなど、必ず申告する。

11. 表彰

- (1)各競技の表彰は、各組ごとに1位から3位までメダルを授与する。
- (2)出場者が少ない障害区分のため、類似した障害条件の者と一緒に競技を実施した場合は、障害区分で表彰する。競技終了後、個々にメダルを授与し、個々に解散する。

12. 開・閉会式について

※開会式（開始式）については、各競技会で別に定める。

閉会式については実施しない。

ただし、5月24日(日)陸上競技の開会式は「総合開会式」として実施する。

13. 参加選手の決定

- (1)各福祉事務所長・学校長・施設長からの申込に基づき、事務局で申込書の確認をし、参加を決定するものとする。（※所属の担当者に確認の電話をする場合があります）

14. 個人情報の取り扱いに関して

- (1)本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
- (2)参加申込書・総括表の提出により、原則として上記(1)の取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・施設・学校等名・学年・記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会を取材する報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
- (3)大会を取材する報道機関が撮影した写真が、新聞・大会報告書・ホームページ等で公表されることがある。

15. そ の 他

- ① 陸上競技の詳細については、5月8日（金）開催の陸上競技事務担当者会議で説明。
- ② この要綱に定めるもののほか、大会の実施に関し必要な事項は各競技別に定める。
- ③ 今後の状況により内容が異なる場合は HP 上で連絡する。

〒636-0344 奈良県磯城郡田原本町宮森 34-4 奈良県心身障害者福祉センター内 奈良県障害者スポーツ協会事務局 宛(休館日:月曜日午後、火曜日) TEL.0744-33-3393 FAX.0744-33-1199

サッカー競技会実施要項

日 時：令和 8 年 4 月 5 日（日） ※ 雨天決行
9：00 受付開始（福祉センターエントランス）
10：00 競技開始
12：15 競技終了（予定）

場 所：奈良県立高等養護学校 グラウンド

開閉会式・表彰式：※実施しない。

放送等で競技開始を呼びかける。全ての試合が終了し、結果が判定された時点で各チームの代表者にメダルを授与する。

競技規則：2026 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

参加申込：

- (1)参加は、各施設・学校・市郡でチームを編成するものとし監督 1 名、コーチ 2 名以内、選手 16 名以内（男女混合可）とする。（ただし、単独で編成できない場合は、任意団体も可能とする。）
- (2)各チームの申し込み責任者は、参加申込書に必要事項を記入のうえ、原則 3 月 25 日（水）【必着】までに障害者スポーツ協会（福祉センター内）に申し込むものとする。

そ の 他：優勝したチームは、全国障害者スポーツ大会近畿ブロック予選会に出場する。

バスケットボール競技会実施要項

日 時：令和 8 年 4 月 12 日（日）
9：00 受付開始（福祉センターエントランス）
10：00 競技開始
12：30 競技終了（予定）

会 場：奈良県心身障害者福祉センター 体育館

審判協力：一般社団法人奈良県バスケットボール協会

競技規則：2026 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

開閉開式・表彰式：※実施しない。

放送等で競技開始を呼びかける。（開始式）

全ての試合が終了し、結果が判定された時点で各チームの代表者にメダルを授与する。

参加申込：

- (1)参加は、各施設・学校・市郡でチームを編成するものとしコーチ 1 名、A コーチ 1 名・マネージャー 1 名以内、選手 12 名以内とし、男女別のチーム編成とする。（ただし、単独で編成できない場合は、任意団体も可能とする。）
- (2)各チームの申し込み責任者は、参加申込書に必要事項を記入のうえ、原則 3 月 25 日（水）【必着】までに障害者スポーツ協会（福祉センター内）に申し込むものとする。

そ の 他：優勝したチームは、全国障害者スポーツ大会近畿ブロック予選会に出場する。

フットソフトボール競技会実施要項

日 時：令和 8 年 4 月 12 日（日）※少雨実施《注：予備日を設けていない》

9：00 受付開始（福祉センターエントランス）

10：00 競技開始

13：00 競技終了（予定）

場 所：奈良県立高等養護学校 グラウンド

競技規則：2026 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

開閉会式・表彰式：※実施しない。

放送等で競技開始を呼びかける。（開始式）

試合が終了し、結果が判定された時点で各チームの代表者にメダルを授与する。

参加申込：(1)参加は、各施設・学校・市郡でチームを編成するものとし監督 1 名、コーチ 2 名以内、選手 15 名以内（男女混合可）とする。

（ただし、単独で編成できない場合は、任意団体も可能とする。）

(2)各チームの申し込み責任者は、参加申込書に必要事項を記入のうえ、原則 3 月 25 日（水）【必着】までに障害者スポーツ協会（福祉センター内）に申し込むものとする。

そ の 他：優勝したチームは、全国障害者スポーツ大会近畿ブロック予選会に出場する。

卓球競技会実施要項

日 時：令和 8 年 4 月 19 日（日）
9:00 受付開始（福祉センターエントランス）
※ 開始式は実施する。
10:00 競技開始
(12:00～13:00 昼休憩)
16:30 競技終了（予定）

会 場：奈良県心身障害者福祉センター
＊一般・精神卓球（福祉センター体育館）
＊サウンドテーブルテニス〈STT〉（多目的室）

審判協力：奈良県卓球協会審判部 田原本町卓球連盟

競技規則：2026 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

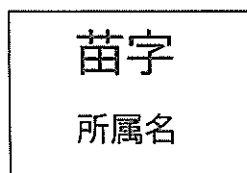
開閉会式・表彰式：※実施しない。
放送等で競技開始を呼びかける。
全ての試合が終了し、結果が判定された時点で各障害区分の 1 位から 3 位までの選手にメダルを授与する。選手は個々に解散する。

競技方法：一般・精神卓球・サウンドテーブルテニス〈STT〉共に 5 ゲームマッチとする。
(1 ゲームは 11 ポイント)
試合は、トーナメント形式又はリーグ戦形式で行う。
ただし、トーナメント形式で行う場合は 3 位決定戦を実施しない。
またリーグ戦形式で行う場合は、「日本卓球ルール細則」の定める方法により、勝敗及び順位を決定する。
なお使用球については、直径 40mm の公式球を使用する。

注意事項：(1)招集は、競技会場の指定された場所で行うので、係員の指示に従うこと。
(2)招集は、競技開始時刻 10 分前に完了する。
(3)招集に遅れた選手の出場は認めない。
(4)ゼッケン〔苗字・所属名〕は、各自で準備すること。（布に手書きでよい）

<出場選手は、背部に 1 枚ゼッケンを付けること>

ゼッケン 作成例



縦 20 c m
横 25 c m 程度

(5)競技用具（ラケット等）は、選手が用意する。《試合球は主催者が準備する》

ソフトボール競技会実施要項

日 時：令和 8 年 4 月 19 日（日）※少雨実施 《注：予備日を設けていない》
9：00 受付開始（福祉センターエントランス）
10：00 競技開始
13：30 競技終了（予定）

場 所：奈良県立高等養護学校 グラウンド

審判協力：奈良県ソフトボール協会

競技規則：2026 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

開閉会式・表彰式：※実施しない。

放送等で競技開始を呼びかける。

当該試合が終了し結果が判定された時点で各チームの代表者にメダルを授与する。敗退したチームごとに解散。

参加申込：(1)参加は、各施設・学校・市郡でチームを編成するものとし監督 1 名、コーチ 2 名以内、選手 20 名以内（男女混合可）とする。

（ただし、単独で編成できない場合は、任意団体も可能とする）

(2)各チームの申し込み責任者は、参加申込書に必要事項を記入のうえ、原則 3 月 25 日（水）【必着】までに障害者スポーツ協会（福祉センター内）に申し込むものとする。

そ の 他：優勝したチームは、全国障害者スポーツ大会近畿ブロック予選会に出場する。

バレーボール競技会実施要項

日 時：令和 8 年 5 月 9 日（土）
9：00 受付開始（福祉センターエントランス）
10：00 競技開始（*）試合形式
12：30 競技終了（予定）

会 場：奈良県心身障害者福祉センター 体育館

競技規則：2026 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

開閉会式・表彰式：※実施しない。

放送等で競技開始を呼びかける。全ての試合が終了し、結果が判定された時点で各チームの代表者にメダルを授与する。

参加申込：(1)参加は、各施設・学校・市郡でチームを編成するものとし、監督 1 名・コーチ 1 名・マネージャー 1 名以内・選手 12 名以内とし、男女混合のチーム編成とする。

（競技規則：チーム編成は男女混合とし、試合中は少なくとも 1 名以上の女性プレーヤーが出場していなければならない。）

※ただし、単独で編成できない場合は、任意団体も可能とする。

(2)各チームの申し込み責任者は、参加申込書に必要事項を記入のうえ、原則 3 月 25 日（水）【必着】までに障害者スポーツ協会（福祉センター内）に申し込むものとする。

そ の 他：（*）試合形式についてはリーグ戦を予定している。

なお、優勝したチームは、全国障害者スポーツ大会近畿ブロック予選会に出場する。

フライングディスク競技会実施要項

日 時：令和 8 年 5 月 10 日（日）※少雨実施
9:00 受付開始 ※福祉センター
10:00 競技開始 アキュラシー
(12:00～13:00 昼休憩)
13:00 競技開始 ディスタンス
16:30 競技終了（予定）

会 場：奈良県立高等養護学校グラウンド、奈良県心身障害者福祉センター体育館

審判協力：奈良県障害者フライングディスク協会

競技規則：2026 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

開閉会式・表彰式：※実施しない。

放送等で競技開始を呼びかける。全ての試合が終了し、結果が判定された時点でメダルを授与し、選手は個々に解散する。

競技方法

【アキュラシー競技】

スローイングラインより 5m 又は 7m の距離からアキュラシーのゴール(内径 91.5cm の輪)に向かってディスクを投げ、10 投のうち通過した数を得点とする。

【ディスタンス】

スローイングエリアから 3 回投げ、そのうち最も遠くへ飛んだディスクの飛距離を計測する。

注意事項：(1)競技に使用するディスクは主催者が用意したものを使用する。

《ファストバックモデル、直径 23.5cm、重量 100±5g とする》

(2)競技場所への誘導は、競技役員・補助員・係員が行う。

(3)介助者が必要な選手のみ介助者の付添を認めるが、介助者以外の競技場への入場は禁止する。【注意されても従わない場合、失格になる場合がある】

(4)番号布（ゼッケン）は、主催者があらかじめ用意したものを競技服装の胸と背中にはっきり見えるようにつけること。＜競技終了後、本部席に返却すること＞

(5)招集は、競技開始 15 分前に始まり、5 分前に完了する。

(6)招集に遅れた者は棄権とみなし出場を認めない。

(7)天候の具合で、ディスタンス競技を実施しない場合がある。

水泳競技会実施要項

日 時：令和 8 年 5 月 17 日（日）
9:00 出場選手受付（会場内エントランス）
9:20～9:50 自由練習
10:00～ 競技開始
13:00（予定） 競技終了 各自解散

会 場：まほろば健康パーク スイムピア奈良【大和郡山市宮堂町 310】

競技運営：（一社）奈良県水泳連盟

競技規則：2026 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

(1)次に示す障害区分番号の者は、水中スタートをしなければならない。

区分番号－8・9・11・13・14・15・17・18・19・22

(2)介助対象となる障害区分

スタート介助《入退水介助含む》：区分番号－11・13・17・19・22

タッピング：区分番号－23（必ず必要）、24

同伴・介助：区分番号－26《情緒不安定、種目の指示(種目を理解できない)》

競技方法：(1)競技前の選手紹介の際は、椅子から立つものとする。ただし、車椅子使用者及び起立できない選手は、右手を拳手するものとする。

(2)補 助

視覚障害者及び下肢障害者等で、プールの出入りなどで補助を要するものには、救助員を配置する。

(3)誘 導

競技場内での誘導は、競技会係員が行う。

(4)スタートは 1 回スタート（フォルススタートは失格）とする。

(5)リレーは男女混合とし、当日申込みを受け付ける。

（受付で申込用紙に記入すること）

注意事項：(1)1 人 2 種目までの出場とする。

(2)招集は、施設内招集場所で行うので係員の指示に従うこと。

(3)招集は、各競技開始時刻 30 分前に開始し、15 分前に完了する。

(4)招集に遅れた選手の出場は認めない。

(5)水泳競技場内においては、事故防止に十分注意すること。

(6)介助が必要な選手のみ介助のための入場は認めるが、撮影、競技役員の業務や、他の選手の妨害をしないこと。また、選手へのコーチ等の助力は一切禁止する。

(7)会場の秩序については、競技役員の指示に従うこと。

(8)開・閉会式を行わないので各自の出場種目の招集には遅れないこと。また、各自の競技終了後には個々に解散する。

(9)写真撮影は、2 階観客席からお願いします。

※特に介助者 ID 利用者の「プールサイド」からの撮影は禁止する。

開閉会式・表彰式：※実施しない。

競技開始の 30 分前には招集し、競技開始 15 分前には集合を完了する。
各組別の競技終了後に順次メダルを授与し、選手は個々に解散する。

陸上競技会実施要項

日 時：令和 8 年 5 月 24 日（日） ※雨天決行
9：00～ 受付開始 ※ 橿原陸上競技場玄関横付近
10：00 開会式（総合開会式）
11：00 競技開始
16：15 競技終了（予定）

会 場：鞆工房山本アスレチックフィールド橿原（奈良県立橿原公苑陸上競技場）

競技運営：（一財）奈良陸上競技協会

競技規則：2026 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

出場制限：陸上競技奈良県予選会に限り、出場制限を設ける。（1 人 2 種目まで）

出場制限の詳細については、大会開催要綱 **9.出場制限** を参照。

また、陸上競技大会に関連する詳細な説明は、5 月 8 日（金）開催予定の、陸上競技事務担当者会議で説明します。

競技方法：（1）走路及び試技順は、プログラム記載の順とする。

（2）セパレート・レーンで行う競技は、50m 競走、100m 競走、200m 競走、400m 競走とする。

（3）リレーは男女別で申し込むこと。（当日申込は出来ない）

（4）跳躍競技（走高跳以外）と投てき競技の試技は、それぞれ 3 回とする。

（5）視覚障害者の 50m 競走に使用する音源は、ハンドマイクに収納した音響とし、跳躍競技と投てき競技については、競技役員がカスタネット等で方向を指示する。

開会式：入場行進は行わず、メインスタンドの所属の場所に座った状態で集合する。

閉会式：閉会式は実施しない。

招集について

（1）場 所：100m スタート側、第 4 ゲート外側の「招集所」において行う。

（2）時 刻：招集の開始及び完了の時刻は、次のとおりとする。

招集開始時刻 競技開始時刻 30 分前

招集完了時刻 競技開始時刻 20 分前

介助について

（1）入場は、競技者介助のための同伴入場のみとし、競技に関する助力は一切認めない。

（2）介助許可 ID は、事前の申込（事務担当者会議にて交付）が必要、用務終了後受付係に返却すること。

表 彰：各競技終了後、各組ごとに 1 位から 3 位までの選手に順次メダルを授与する。

表彰式は行わずに、メダルの受け取りのみとする。受け取った選手は、第 2 ゲートを回って自席に戻り個々に解散する。

《別表1》 全国障害者スポーツ大会・種目 1. 陸上競技

◎男女別・年齢区分別 △男女混合・年齢区分なし ▲男女別・年齢区分なし																			
				競走								跳躍			投てき				
				※2 50 m	100 m	200 m	400 m	800 m	1500 m	スラローム	※1 4×100 mリレー	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ビーコンバック投	
肢体不自由	1	上肢	区分番号	障害区分															
			1	手部切断 片前腕切断または、片下肢不完全 片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎				※4 ◎				◎	◎	◎	◎	◎	
			2	両前腕切断または、片前腕および片上腕切断 両上肢不完全	◎	◎						▲	◎	◎					
		3	両上腕切断または、両上肢完全	◎	◎						▲	◎	◎						
		下肢	4	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			5	片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			6	両下腿切断	◎	◎							◎		◎	◎	◎		
			7	片下腿および片大腿切断 両下肢不完全	◎								◎		◎	◎	◎		
	8		両大腿切断または、両下肢完全											◎	◎	◎			
	体幹	9	体幹 ※3	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎			
	2	脳原性麻痺、 す常用、 以外で車いす	10	第6頸髄まで残存	◎	◎				◎								◎	
			11	第7頸髄まで残存		◎	◎		◎	◎	◎								◎
			12	第8頸髄まで残存		◎	◎		◎	◎	◎				◎	◎	◎		
			13	下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎		◎	◎	◎				◎	◎	◎		
			14	下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎		◎	◎	◎				◎	◎	◎		
			15	その他の車いす		◎	◎		◎						◎	◎	◎		
	3	(脳性麻痺、 外傷等) 脳原性麻痺、 脳血管疾患、 脳	16	四肢麻痺で車いす使用	◎					◎								◎	
			17	けって移動	◎					◎									◎
			18	片上下肢で車いす使用	◎					◎						◎	◎		
			19	上肢で車いす使用	◎	◎	◎		◎	◎	◎					◎	◎	◎	
			20	その他走不能												◎	◎	◎	
			21	上肢に不随運動を伴う走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			22	その他走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	4		23	電動車いす常用						◎								◎	
	視覚障害 ※5			24	視力0から0.01まで ※6	◎	◎	◎		◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	
				25	その他の視覚障害	◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎	◎
	聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害			26	聴覚障害	◎	◎	◎		◎	◎		▲	◎	◎	◎	◎	◎	
	知的障害			27	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎		△	▲	◎	◎		◎	◎
内部障害			28	ぼうこう又は直腸機能障害	◎					◎				◎	◎		◎	◎	

※1 4×100mリレーは男女混合とする。

※2 50m競走で使用する車いすは日常生活用とする。

※3 体幹とは頸部・胸部・腹部及び腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊椎カリエス等による体幹に障害が該当する)。
ただし、四肢の機能障害を伴う場合は体幹の機能障害があってもこの区分には該当しない。

※4 複数の障害区分にわたり1つの◎がついている場合は、一つの区分として競技をおこない、順位を決定する。

※5 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※6 障害区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

【注】 競走競技は50mと100m、跳躍競技は立幅跳と走幅跳、投てき競技は障害区分8を除き、ソフトボール投げとジャベリックスロー両方に申し込むことはできない。

《別表2》 全国障害者スポーツ大会・種目 2. 水泳

◎男女別・年齢区分別 ○男女別・1部 ●男女別・2部 △男女混合・年齢区分なし

				自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ		※1 リレー 4×50m	※1 メドレーリレー 4×50m	
				25m	50m	25m	50m	25m	50m	25m	50m			
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			2	片前腕切断または、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			3	片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			4	両前腕切断または、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			5	両上腕切断または、両上肢完全 片前腕および片上腕切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		下肢	6	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			7	片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			8	両下腿切断または、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			9	両大腿切断または、両下肢完全 片下腿および片大腿切断	◎	◎	●	○	●	○	◎			
		上下肢	10	片上肢切断および片下肢切断片 上肢不完全および片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎			
	11		多肢切断または、片上肢完全および片下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎				
	体幹	12	体幹	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
	2	脳 原 性 麻 痺 （ 車 い す 常 用 ） 以 外 で	13	第7頸髄まで残存	◎	◎	◎		◎					
			14	第8頸髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			15	下肢麻痺で座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			16	下肢麻痺で座位バランスあり	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	3	（脳 性 麻 痺、 脳 血 管 疾 患、 脳 外 傷 等）	17	四肢麻痺（車いす常用）または、上肢に著しい 不随運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎					
			18	両下肢麻痺または、 上肢に軽度の不随運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			19	片側障害で片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎			
			20	その他の片側障害で走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			21	その他走可能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	4		22	浮具使用	◎	◎	◎		◎					
視覚障害※2			23	視力0から0.01まで ※3	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			24	その他視覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
聴覚・平衡機能障害、音声・ 言語・そしゃく機能障害			25	聴覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
知的障害			26	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△

※1 リレー、メドレーは男女混合とする。

※2 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※3 障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

《別表3》 全国障害者スポーツ大会・種目 4. 卓球

◎男女別・年齢区分別 ●男女別

			区分番号	障 害 区 分	卓球	STT
肢 体 不 自 由	1	上肢障害	1	片上肢障害	◎	
			2	両上肢障害	◎	
		下肢障害	3	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	
			4	片大腿切断または、両下腿切断 片下肢完全または、両下肢不完全	◎	
			5	片下腿および片大腿切断 両大腿切断または、両下肢完全	◎	
		体幹	6	体幹	◎	
	2	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	7	第8頸髄まで残存※1	◎	
			8	座位バランスなし	◎	
			9	その他の車いす	◎	
	3	脳原性麻痺 (脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	10	車いす使用	◎	
			11	杖または、松葉杖使用	◎	
			12	上肢に不随運動あり	◎	
			13	上肢に不随運動なし	◎	
			14	片側障害	◎	
視覚障害 ※2			15	アイマスク・アイシェードあり ※3		◎
			16	アイマスク・アイシェードなし	◎	
聴覚・平衡機能障害、 音声・言語機能障害、そしゃく機能障害			17	聴覚障害	◎	
知的障害			18	知的障害	◎	
精神障害			19	精神障害	●	

※1 「第8頸髄まで残存」には、「第6頸椎まで残存」および「第7頸髄まで残存」も出場できるものとする。

※2 視力・視野の程度に関わらず、アイマスク・アイシェードの有無で出場競技を分ける。

※3 障害区分15は、各自で用意した光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

5. フライングディスク

◇区分なし ●男女別

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート 5	ディスリート 7	座位	立位
肢体不自由	◇	◇	●	●
視覚障害				
聴覚障害				
知的障害				
内部障害(ぼうこう又は直腸機能障害)				

【障害区分:注意】

- 身体障害が重複している場合でも、同一大会では、同じ区分で参加すること。また、上腕切断者が前腕切断で参加するような、より軽度の区分での参加は認めない。
- 完全とは、上肢(肩・肘・手首)や下肢(股・膝・足首)の大きな3つの関節の機能が損傷を受け、下肢の場合は補装具なしでは体重を支えきれないものをいう。
- 関節離断は、上位の部位の切断として扱う。《肘関節の離断は上腕切断となる》
- 体幹障害とは、脳原性麻痺を除く脊柱障害のもので、《頸部・胸部・腹部及び腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊柱カリエス・脊柱管狭窄症・先天性側彎症)などによる体幹の障害が該当する。
- 座位バランスの判定は、「へそ」の位置での知覚レベルの有無が一つの判断基準になり、背もたれのない座位の状態でも両手の支えなく座ることができる場合は「座位バランスあり」と判断する。
- 脳原性麻痺とは、脳性麻痺、脳血管疾患や脳外傷などによる脳に原因する機能障害をいう。
- 視覚障害の視力は、両眼の和ではなく、良い方の視力で判定される。
- 内部障害は、ぼうこう又は直腸機能障害のみを対象とする。

《別表4》 全国障害者スポーツ大会「ボッチャ」競技・種目と障害区分

△男女混合・年齢区分なし

			区分 番号	障害区分・解説	競技スタイル	
					立位	座位
肢 体 不 自 由	1	切断・ 機能障害	1	多肢切断または両下肢完全で立位 【解説】上肢・下肢の4肢のうち3肢体を切断し義足等を使用して立位で競争する者、もしくは脳原性麻痺以外で下肢の3大関節(股・膝・足関節)全てに機能障害があり、長下肢装具を使用して立位で競技する者	△	
	2	脳原性麻痺以外で 車いす常用、使用	2	第6頸髄まで残存 【解説】肩関節周辺の筋力はほぼ正常な四肢麻痺者(肘関節の屈曲と手関節の背屈は正常)		△
			3	第7頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲と肘関節周囲の筋力がほぼ正常な四肢麻痺者(肩関節と肘関節、手関節の背屈と掌屈が正常だが、物がにぎれない)		△
			4	第8頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲と肘関節周囲と手関節周囲の筋力はほぼ正常で指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者(把持能力はあるが、指を強く開いたり閉じたりできない)		△
			5	多肢切断 【解説】上肢・下肢の4肢のうち3肢体を切断し、車いすや椅子に座った姿勢で競技する者		△
	3	脳原性麻痺(脳性 麻痺、脳血管疾患、 脳外傷等)	6	四肢麻痺で車いす常用 【解説】脳原性麻痺により四肢に著しい可動域制限や協調運動障害がある車いす使用者		△
			7	けって移動 【解説】脳原性麻痺による両上肢の障害が重度のため両下肢または片下肢で車いすを駆動させる者		△
			8	片上下肢で車いす常用、または使用 【解説】脳原性麻痺による片側障害で、動かすことができる側の upper limb と lower limb で車いすを操作する者		△
			9	その他走不能 【解説】脳原性麻痺による下肢障害で、杖や下肢装具の使用の有無に関わらず、走ることのできない者	△	
	4		10	電動車いす常用 【解説】脳原性麻痺や脳原性麻痺以外の四肢麻痺者、多肢切断で、日常的に電動車いすを使用している者		△

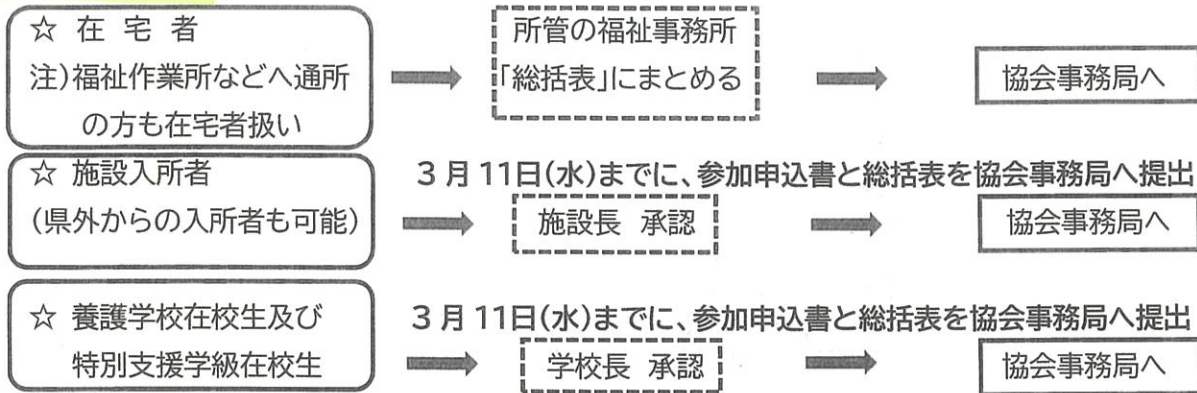
※座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。

※座位で競技する選手(区分2～8および10)の選手で、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者及びランプ使用者について、選手1名につき1名の競技アシスタントを認める。

※立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

2026奈良県障害者スポーツ大会参加申込み手順

〔在宅者は2月25日(水)までに福祉事務所へ参加申込書を提出〕〔3月11日(水)までに協会事務局へ提出〕



*施設・学校の新入生については、開催要綱 10.(2)の③を参照

注:競技会の欠席連絡については、開催要綱 10.参加申込み方法(2)④、⑤を参照してください。

注:養護学校等の在学生在、居住地の福祉事務所から参加する場合は、養護学校等の担当者は把握できる範囲で当スポーツ協会にその旨の連絡をお願いします。

注:施設入所者にあつては、住民票が出身県のままでも参加できます。

注:在宅の方(作業所へ通所の方を含む)で参加申込書が必要な方は福祉事務所へ連絡してください。

2026奈良県障害者スポーツ大会 会場一覧

			会場数:3会場		
			会場 1	会場 2	会場 3
競技名		障害区分	心身障害者福祉センター体育館 県立高等養護学校グラウンド	まほろば健康パーク スイムピア奈良	鞆工房山本 アスレティックフィールド橿原 (県橿原公苑陸上競技場)
個人競技	卓球競技	身体 精神 知的	4月19日(日)福祉センター体育館 身体・精神・知的(一日)		
	フライングディスク競技	身体 知的	5月10日(日)高等養護学校グラウンド (午前):アキュラシー (午後):ディスタンス		
	水泳競技	身体 知的		5月17日(日) 身体・知的(午前)	
	陸上競技	身体 知的	※2 5月8日(金)「陸上競技会」事務担当者会議		5月24日(日) 総合開会式実施 (一日)
団体競技	サッカー競技	知的	※1 団体競技監督会議 4月4日(土) 10時	4月5日(日)高等養護学校グラウンド (午前)	
	バスケットボール競技	知的		4月12日(日)福祉センター体育館 (午前) 同日開催	
	フットソフトボール競技	知的		4月12日(日)高等養護学校グラウンド (午前)	
	ソフトボール競技	知的		4月19日(日)高等養護学校グラウンド (午前)	
	バレーボール競技	精神		5月9日(土)福祉センター体育館 (午前)	

※1 4月4日(土)団体競技監督会議・抽選会[県心身障害者福祉センター別館]午前10時00分～(注:通知なし)

※2 5月8日(金)陸上競技事務担当者会議[県心身障害者福祉センター2階研修室]午後(後日通知)

奈良県障害者スポーツ大会 参加申込書(身体部の部)記入要領

※通所施設の方は、所管の福祉事務所名を記入し、申し込むこと

所属名	吉野福祉 福祉事務所・入所施設・学校名を記入	担当者名	吉野 桜子
フリガナ	ムダ タロウ	性別	
氏名	六田 太郎		
生年月日	T 34 年 1 月 1 日 S H	年齢区分	年齢 63歳 1 部 ・ (2 部)
連絡先	現住所〒636-0344 磯城郡田原本町宮森34-4 TEL0744(33)3393 FAX0744(33)1199		
身体障害の内容	奈良県 第〇〇〇〇号 1 種 1 級 身体障害者手帳番号 障害名 障害の原因となっている傷病名等 (身体障害者手帳記載通りの全文) (脳性麻痺、脳梗塞、脊髄損傷など具体的に) 例1: 両下肢の機能全廃 脊髄損傷 例2: 四肢および体幹の機能障害 脳性麻痺		
補装具使用状況	車椅子使用 ※No.カード記入しない		

※No.カード欄は記入しないこと

◇年齢は、当該年の4月1日現在で記入すること
◆年齢区分は、1部=39歳以下、2部=40歳以上 とする

陸上	出場種目 ※No.カード 記入しない	50m ムダ タロウ 六田 太郎	障害区分番号 16	年齢区分 1 部 ・ (2 部)	年齢 63歳	特記事項 車いす
陸上	出場種目 ※No.カード 記入しない	ビーンバック投 ムダ タロウ 六田 太郎	障害区分番号 16	年齢区分 1 部 ・ (2 部)	年齢 63歳	特記事項 車いす
水泳	出場種目 フリガナ 氏名	25m 背泳ぎ ムダ タロウ 六田 太郎	障害区分番号 17	年齢区分 1 部 ・ (2 部)	年齢 63歳	特記事項 車いす
水泳	出場種目 フリガナ 氏名	25m 平泳ぎ ムダ タロウ 六田 太郎	障害区分番号 17	年齢区分 1 部 ・ (2 部)	年齢 63歳	特記事項 車いす
卓球	出場種目 フリガナ 氏名	(一般) ・ STT ムダ タロウ 六田 太郎	障害区分番号 10	年齢区分 1 部 ・ (2 部)	年齢 63歳	特記事項 車いす
フライング ディスク (アキョウジャー)	出場種目 ※No.カード 記入しない	5m ・ 7m ムダ タロウ 六田 太郎	年齢 63	年齢 63歳	特記事項 車いす	
フライング ディスク (デイスタンク)	出場種目 ※No.カード 記入しない	立位 ・ (座位) ムダ タロウ 六田 太郎	年齢 63	年齢 63歳	特記事項 車いす	

2026奈良県障害者スポーツ大会出場選手 総括表 記入要領

身体の一部 男子

所属名		吉野福祉		担当氏名		吉野 桜子		連絡先		TEL 0000-00-0000 FAX 0000-00-0000		特記事項	
フリガナ氏名		年齢		陸上競技		水泳競技		卓球競技		フライングディスク			
番号	氏名	年齢	区分	番号	種目名	区分	番号	種目名	区分	番号	種目名	区分	種目名
①・2部	1 〇 〇 〇 〇	17	肢1	1	100m	肢1	2	25m自由型	肢1	1	〇	5	立位・座位
①・2部	2 〇 〇 〇 〇	24	肢2	14	ソフトボール投							5・7	立位・座位
①・2部	3 〇 〇 〇 〇	28					18	50m自由型				5・7	立位・座位
①・2部	4 〇 〇 〇 〇	35										5	立位・座位
①・2部	5 〇 〇 〇 〇	39	視覚	24	立幅跳				視覚	15	STT	5・7	立位・座位
1・2部	7 〇 〇 〇 〇	55	肢1	7	50m		8	25m自由型				5・7	立位・座位
1・2部	6 〇 〇 〇 〇	63	肢3	16	50m		17	25m背泳ぎ	肢3	10	〇	5	立位・座位
1・2部	8 〇 〇 〇 〇	63	聴覚	27	ソフトボール投		26	25m背泳ぎ				5・7	立位・座位
1・2部	9 〇 〇 〇 〇	70	内部	29	立幅跳							5	立位・座位
1・2部	10												
1・2部	11												
1・2部	12												
1・2部	13												
1・2部	14												
1・2部	15												

ナナ ハバ ー カード は 記入しない

ナナ ハバ ー カード は 記入しない

※ 陸上は、一人二種目までの出場

※ 水泳は、一人二種目までの出場

※ 陸上・水泳・卓球では、同じ障害でも区分番号が異なる場合がある

※ 立位か座位に〇印をつける

※ 5mまたは、7mに〇印をつける

※ 一般卓球は〇印を付ける

※ 番号 15の人のみSTTと記入

※ 年齢の若い順に記入

※ 同年齢では、区分番号が若い順に記入

※ 上記の例を参考に特記事項があれば記入
「要介助」の記入で介助者ID発行

※ 内部

奈良県障害者スポーツ大会 参加申込書(知的の部)記入要領

* 通所施設の方は、所管の福祉事務所名を記入し、申し込むこと

* 所 属 名		吉野福祉社 福祉事務所・入所施設・学校名を記入		担当者名		吉野 桜子	
フリガナ		オオヨド アユ		性 別			
氏 名		大淀 鮎		男・(女)			
生年月日		T 18 年 4 月 2 日 S (H)		年 齢 区 分		少年・青年・壮年 16 歳	
連絡先		現住所〒639-3100 吉野郡吉野町吉野山 TEL0000(00)0000 FAX0000(00)0000					
障害程度		A・(B)		身体障害の有 無		有・(無)	
身体障害の内容							
補装具使用状況		※No.カード 記入しない					

◇年齢は、当該年の4月1日現在で記入すること

◆年齢区分は、
 少年=13歳以上19歳以下
 青年=20歳以上35歳以下
 壮年=36歳以上とする

陸 上	出場種目	200m	年齢区分	少年	青年・壮年	年齢	16歳
	※No.カード 記入しない	オオヨド アユ	性別	男	所 属 名	吉野福祉社	特記事項
	氏 名	大淀 鮎	男				介助
陸 上	出場種目	400m	年齢区分	少年	青年・壮年	年齢	16歳
	※No.カード 記入しない	オオヨド アユ	性別	男	所 属 名	吉野福祉社	特記事項
	氏 名	大淀 鮎	男				介助
水 泳	出場種目	50m 自由型	年齢区分	少年	青年・壮年	年齢	16歳
	フリガナ	オオヨド アユ	性別	男	所 属 名	吉野福祉社	特記事項
	氏 名	大淀 鮎	男				介助
水 泳	出場種目	50m 自由型	年齢区分	少年	青年・壮年	年齢	16歳
	フリガナ	オオヨド アユ	性別	男	所 属 名	吉野福祉社	特記事項
	氏 名	大淀 鮎	男				介助
卓 球	出場種目	一 般	年齢区分	少年	青年・壮年	年齢	16歳
	フリガナ	オオヨド アユ	性別	男	所 属 名	吉野福祉社	特記事項
	氏 名	大淀 鮎	男				介助
フライング ディスク (アキュレーサー)	出場種目	5m・7m	障害程度	A・(B)	年齢	16歳	
	※No.カード 記入しない	オオヨド アユ	性別	男	所 属 名	吉野福祉社	特記事項
	氏 名	大淀 鮎	男				介助
フライング ディスク (デイスタンス)	出場種目	立位・座位	障害程度	A・(B)	年齢	16歳	
	※No.カード 記入しない	オオヨド アユ	性別	男	所 属 名	吉野福祉社	特記事項
	氏 名	大淀 鮎	男				介助

2026奈良県障害者スポーツ大会出場選手 総括表 記入要領

知的の部 女子		所属名	吉野福祉		担当者 氏名	吉野 桜子	連絡先	TEL 0000-00-0000	FAX 0000-00-0000	
番号	フリガナ 氏 名	年齢	年齢区分	障害程度	陸上競技 種目名	水泳競技 種目名	卓球 競技	アキユ ラシー	フライングディスク ディスタンス デシター	特記事項
1	オオヨシド アユ 大定 鮎	16	少・青・壮	A・B	200m	50m自由形	○	5・7	50・座位	要介助
2	○ ○ ○ ○	24	少・青・壮	A・B			○	5・7	立位・座位	
3	○ ○ ○ ○	28	少・青・壮	A・B	100m			5	立位・座位	重複
4	○ ○ ○ ○	35	少・青・壮	A・B				5・7	立位・座位	
5	○ ○ ○ ○	39	少・青・壮	A・B	ソフトボール投げ		○	5・7	立位・座位	
6	○ ○ ○ ○	50	少・青・壮	A・B	ジャベリックスロー			5・7	立位・座位	車いす 要介助
7	○ ○ ○ ○	55	少・青・壮	A・B	200m		○	5・7	立位・座位	
8	○ ○ ○ ○		少・青・壮	A・B				5・7	立位・座位	
9	○ ○ ○ ○		少・青・壮	A・B				5・7	立位・座位	
10										
11										
12										
13										
14										
15										
↑ 年齢の若い順に記入					↑ 該当区分に○印をつける		↑ どちらかに○印をつける		↑ 出場者に○印	
↑ 5 mまたは、7 mに○印をつける					↑ 立位か座位に○印をつける		↑ 上記の例を参考に特記事項があれば記入 ※「要介助」の記入で介助者ID発行			
※ 陸上は、一人二種目までの出場					※ 水泳は一人二種目までの出場					

奈良県障害者スポーツ大会(

競技)

棄権届

ナンバーカード	競技者名	性別○	棄権種目	プログラムページ	競技No
		男		P	
		女		P	
		男		P	
		女		P	
		男		P	
		女		P	
		男		P	
		女		P	
		男		P	
		女		P	
		男		P	
		女		P	
		男		P	
		女		P	
		男		P	
		女		P	

令和 年 月 日 上記のとおり届け出ます。

所属名：

担当者氏名：

電話番号：

(当日提出の場合は記入不要)